

Flash Eyes

観戦ガイド1月20日号

天皇杯・皇后杯

2020年

全日本卓球選手権大会

(一般・ジュニアの部)

丸善インテックアリーナ大阪

(大阪市中央体育館)

2020年1月13日(月)

～1月19日(日)

全日本 悲願成就

1月19日の2020年全日本卓球選手権大会最終日は、早朝からおよそ5,000人の観客が集まり、多くの卓球ファンが見守る中、男女シングルス準決勝・決勝が行われた。

女子シングルス決勝は、準決勝で史上初の3年連続3冠に挑んだ伊藤美誠をゲームオールの末に破り、昨年のリベンジを果たした早田ひなと、4年ぶりの王座奪回に燃える石川佳純の対決となった。巧みなサーブプレシーブとパワフルなドライブで石川を圧倒した早田が涙の初優勝。

男子シングルス決勝は、かつて一昨年ジュニア決勝で雌雄を決した二人である張本智和と宇田幸矢の対戦となった。ゲームオール9-9までもつれた死闘の末、最後まで信念を曲げず攻め抜いた宇田幸矢がジュニアの雪辱を果たし悲願の初優勝を達成した。

2020年東京五輪の代表に選出されなかった宇田と早田は、五輪代表の張本、石川をそれぞれ倒して2020年世界選手権釜山大会(団体)の代表を自らの手で掴み取った。

五輪代表が優勝できないほど実力が拮抗した選手たちが熱戦を繰り広げた今年の全日本。願いを叶えた者たちも、雪辱を誓う者たちも、舞台は次の全日本へと…。

宇田幸矢選手 (史上10人目の高校生チャンピオン)

決勝戦の5ゲーム目の10-8でリードしていましたが、そのゲームで決めることができず、苦しい試合になりましたが、最後まで我慢をして、攻め続けました。5・6ゲームのサービスからの展開が効いていたので、最終ゲームの9-9の場面でも同じサービスを使い、連続得点することができました。

2年前の全日本ジュニア決勝で負け、その後も世界で活躍している張本選手は少し上の存在でしたが、今回勝つことができたので自信になりました。

今後はワールドツアーでも格上の選手に勝って、世界ランキングを上げていき、世界でも活躍できるようになりたいです。



宇田幸矢 JOC立花がみ(大原学園)・東京	4 (13-11, 11-9, 8-11, 12-10, 11-13, 6-11, 11-9) 3	張本智和 木下グループ・神奈川
---------------------------------	---	---------------------------

早田ひな選手 (女子ダブルス3連覇 今大会2冠)

これまで苦しいことや、頑張っても結果が出ないときがすごく多くて、でも常にたくさんの方が「ひなちゃん頑張れ」って応援してくれていたのが、結果として恩返しできて良かったなと思っています。

去年同じ準決勝で伊藤(美誠)選手に負けてしまって、今年も伊藤選手に勝たないと優勝はなかったので、そこを勝ててよかったです。

伊藤選手とはダブルスを組んでいたり普段の練習から一緒にいる仲間ではあるんですけど、試合の時はライバルとしての美誠の存在があったからこそ、ここまで来れたと思っているので、この優勝を糧に頑張りたいです。

早田ひな 涙の初優勝



早田ひな 日本生命・福岡	4 (11-7, 11-9, 11-4, 9-11, 11-8) 1	石川佳純 全農・山口
------------------------	------------------------------------	----------------------